

やまとの名品

天理図書館

OLIVER TWIST.

BY

CHARLES DICKENS.

AUTHOR OF "THE PICKWICK PAPERS."

IN THREE VOLUMES.

VOL. I.

LONDON:

RICHARD BENTLEY, NEW BURLINGTON STREET.

1838.

オリヴァー・トゥイスト

チャールズ・ディケンズ著

ロンドン 1838年刊 3冊

縦20.5cm 横13.5cm

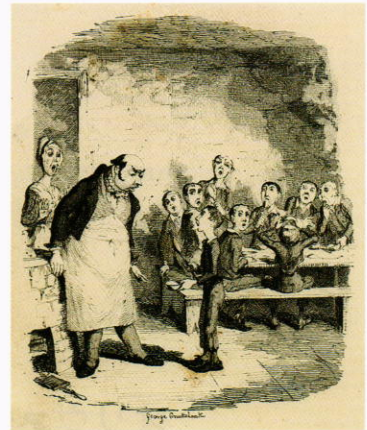
チャールズ・ディケンズはイギリス・ヴィクトリア朝を代表する小説家で、昨年はその生誕二百年であった。それを記念し、天理図書館では昨年に開館八十二周年記念展「ベストセラ―作家誕生―ディケンズ初版本の世界」を開催した。

本書『オリヴァー・トゥイスト』(Oliver Twist)は、救貧院きうひんいん出身の孤児オリヴァーが様々な困難に遭いながらも立派に成長していく様を描いた物語であり、ディケンズの作家としての地位を不動のものにした作品である(救貧院とは当時イギリスにあった貧民収容施設のこと)。

この作品は『クリスマス・キ

ャロル』、『二都物語』などと並ぶ作者の代表作であり、英語圏以外の人々にも親しまれ、現在まで何度となく映画化もされている。またディズニーでは、この作品を原作としてアニメ「オリバー・ニューヨーク子猫も

のがたり」が制作されている。掲出の書は三巻本の単行本で一八三八年に発行された。刷りは第三刷であるが、第二刷までは著者名はペンネームの「ボズ」であり、この第三刷より、「チャールズ・ディケンズ『ピクウィック・ペーパーズ』の著者」と変更され、ディケンズが実名で登場することになった。



挿絵は、主人公オリヴァーが一杯の薄い粥かゆのおかわりを求めて、「どうか親方、ほく、もつと欲しいんです」と有名なセリフを言う場面である。

なお、この五月十二日より昨秋と同内容の展覧会を、東京神田の天理ギャラリーにて開催する。

(天理図書館 春木陽二)